

平成20年度第2回中原区区民会議運営部会会議録

日 時 平成20年12月9日(火) 午後4時00分～午後5時7分

場 所 中原区役所5階501会議室

出席者 藤枝部会長、鈴木副部会長、竹井委員、芳賀委員、藤嶋委員、吉房委員
(事務局)御前副区長、齋藤企画課長、日笠主査、小木曾職員、石渡職員、鈴木職員、
櫻井主査

傍 聴 なし

報 道 なし

次 第

1 開会

2 会議録確認委員の選任

竹井委員を選任

3 議題

(1) 第3回中原区区民会議の運営について

ア. 課題調査部会の審議内容について

竹井課題調査部会部会長より、資料1及び2に基づき、課題調査部会の審議内容及び
課題調査部会の取り組み(案)について説明

(主な意見)

- 資料2の取り組み事項(案)の一番下の「地域課題連絡協議会」であるが、20年
構想委員やまちづくり推進委員会などの組織があり、こうした組織をまた作ると同
じようなメンバーが集まって同じような組織がまたいくつもできてしまうのではな
いか。既存の組織を活用したほうがよいという考えもあるのでは。(鈴木副部会長)
まちづくり推進委員会や芳賀委員の自転車と共生するまちづくり委員会などは関
心を持った人が集まって活動しており、町内会の活動とは関連がない場合もある。
この連絡協議会では町内会の人も参加してもらい、点から面の活動になればという
趣旨である。ただ一方では(鈴木副部会長のいうとおり)いくつも同じような組織
を作ることは避けるべきという考えもあり、例えば「中原区安全・安心まちづくり
地域推進協議会」というような既存の組織もあるので、そうした既存の組織との連
携を深めることも大切であると考えている。(竹井委員)
- 新丸子商店街で活動が始まっているとのことだが、どのような取り組みを行ってい
るのか。(藤嶋委員)

川連委員をはじめ、丸子地区商店街の商店街会長など6名程度の方々が新丸子駅
周辺の放置が多い箇所を中心に路上などに放置された自転車に警告チラシを貼って
いる。時間は午後3時30分から4時。活動はアナウンス効果を高めるために区の
放置自転車撤去日と連動するように日程を決めて実施している。12月は既に行わ
れた分を含めて3回を予定していると聞いている。(事務局)

川連委員からの報告によると、初日は231台に警告札を貼り、翌日はその効果
があったのか、100台くらい自転車台数が減ったということである。(副区長)

- ・ 自転車マナー向上運動については、子ども会を通じて子どもたちへの自転車マナー向上運動を広めていきたいと思っている。それから老人会にも広げていきたいとも思っている。(吉房委員)

子ども会は社会長が区民会議委員なので、社会長に直接お願いすればよいのでは。また、PTA協議会についても今月12日の役員会合に自転車のことについてお話をすることになっている。また、各学校から個別に説明して欲しいという要望があれば、自共生で出前講座を設けるといふ段取りになっている。老人会も呼びかけ活動に参加するような話しもある。(芳賀委員)

- ・ 各団体の取り組みもあるので、次の区民会議までに各委員にあらかじめ各団体での取り組み内容を考えておいて貰えばよいのではないか。(竹井委員)

事務局より、資料3に基づき、第3回区民会議の次第案を説明

了承

イ. 日程について

事務局より、「平成21年1月20日(火)午後2時~午後4時30分」開催を提案

了承

(2) 第4回中原区区民会議の運営について

ア. 第4回中原区区民会議の検討テーマについて

事務局より、第1回区民会議で各委員から提案された検討テーマを課題別に整理した資料5について説明を行う。

(主な意見)

- ・ 「ごみ」(自然環境又は生活環境に関するテーマ)についてやってもらえれば。(藤嶋委員)
- ・ 地域コミュニティの活動拠点の場づくりが重要なテーマだと考えている。財源の問題や人の問題、場所の問題などいくつかの課題はあるが、地域の拠点を作れば、防災・防犯の情報も入ってくる。地域の人たちが集まるおしゃべりの場を作りたい。(地域の場づくりというハード面と人々が集まって交流が生まれるというソフト面のコミュニティづくりという提案)(吉房委員)
- ・ ごみやタバコのポイ捨てなどマナーの問題をばらばらに取り組むのではなく整理した取り組みが必要であると思っている。(芳賀委員)
- ・ 防災対策は地域コミュニティがしっかりしていないと対応できない。小学校区単位で地域コミュニティが作ることが望ましく、それができれば、子育て、高齢者など福祉や要援護者支援にもつながる。防災を切り口に地域コミュニティを考えてみては。(竹井委員)
- ・ コミュニティの場を作れば、大勢の人が集まって情報が入ってくる。そうしたことが大事だと思う。防災は町内会で自主防をやっているが、町内会で名簿を回覧しても連絡先が白紙で戻ってくる。町内会での防災の取り組みは難しくなっている。(吉房委員)

町内会館はコミュニティの場にならないのか。(鈴木副部長)

町内会館はオープンに貸しているところと貸し出さないところがある。貸し出している会館は少ないのでは。町会の会館はずれにあるので人が集まらない。(吉房委員)

町内会館を新たに作るのは難しいので、学校や銭湯などの場所を活用するのがよいのでは。(藤嶋委員)

人が集まるような場所はまちの中心にあったほうがよい。(吉房委員)

昔は公民館があったが、最近はあまりない。町会会館は町内の関係者にしか貸さないところも多い。現在ではそうした場所がないわけでもないが、少ないことは間違いない。ただ、まず人と人のネットワークをつくって、そこから、ハードについて考えたほうがよいのでは。また、上平間の町内会で高齢者の見守りの活動の例があったように地域のネットワークで守っていくということがよいのでは。(芳賀委員)

行政の防災拠点があるように、市民にも人と人のネットワークをつくることで災害時の地域の拠点などを考えていくという方向性がよいのでは。(鈴木副部長)

防災だけの拠点ではなく、人があつまるというソフト(ハート)面の拠点づくりということをテーマとしたい。(吉房委員)

地域コミュニティをどうつくっていくかということであると思う。(竹井委員)

- ・ 本日の皆さんの意見を(正副部長で)まとめさせていただき次回の区民会議で報告させていただくことでよろしいでしょうか。(鈴木副部長)

了承

イ. 日程について

事務局より、3月19日(木)午後開催を案として提示する。

3月19日(木)午後3時00分開催(予定)で決定

(3) その他

竹井委員より、追加資料「地球にいいことプロジェクトについて」を説明。

- ・ 第1期中原区区民会議で「地域で取り組む環境対策～私たちにできる“環境”を考える～」をテーマに議論したことを受け、「地球にいいことプロジェクト」として、環境に配慮した取り組み、実践活動を始めている。また、市でも、川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)を設置して、市全体の取り組みだけでなく、各区の取り組みの推進も始まろうとしている。こうした状況の中で、「地球にいいことプロジェクト」の取り組みをさらに区民の中に広めるにあたり、環境分野で活動する人々に呼びかけて、今後の活動を担っていくネットワークをつくっていきたい。次回の区民会議でこのことについて提案して委員の皆さんの協力を得て進めていきたい。(竹井委員)

特に異議なし。次回区民会議で提案を行う。

午後5時7分 終了

以上要約のみ